



国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「ロータリーはあなた自身から」
— You are the key —

高田ロータリー今年の
スローガン

「友情を深め合い、
ロータリーを楽しく！」



2014～2015年度

国際ロータリー会長 **ゲイリー C.K. ホアン**
2560地区ガバナー **佐々木昌敏**
高田ロータリー会長 **齋藤 尚明**
幹事 **牧野 章一**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
小柳 勝司 佐藤 憲二 石田 誠夫 澤井 祥典
大島 誠 堀井 靖功 永井 謙

第27回例会 ■ 1月23日(金)

No.25

会長挨拶 ● 齋藤 尚明

皆さんこんにちは。第27回例会です。

御案内がいらっしゃると思いますが、先日会員の永井謙さんのお母様が亡くなりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

先日長岡にある新潟県立近代美術館の館長さんがおいでになりました。今年の7～8月に濱谷浩写真展を開催するのでご協力をとということでした。濱谷氏は戦前戦中高田に通って民俗行事の写真などを撮り続け、戦後は高田に住んでその後の代表作といえる作品を残しました。

また高田公園内にロータリー広場がありますが御存知のように我が高田 RC 創立 50 周年の記念事業で作ったものですが、その中心に堀口大學詩碑があります。細かい経緯は省きますが堀口大學もまた戦後疎開で高田に住み多くの文化的影響を地元に残しました。

お二人に限りませんが今そういうことが忘れられようとしています。藤林先生はよくおわかりでしょうが、次代の人達に話をつないでいかないと途切れてしまい、一度失われると取り戻すことは容易でないということは、ひとり文化の話に限ったことではありません。

皆さま方にはその辺に思いを致していただけたらありがたく存じます。

本日の講話は株式会社まちづくり上越 直江津

まちなかアテンダントの小松光代さんです。よろしくお願いいたします。

出席報告

出席率 92.45%

セレモニー

ポールハリスフェロー授与式

深田正明君・佐藤憲二君・高橋俊宣君・山田吉徳君・山田 守君

委嘱状伝達（山本ガバナーエレクト事務所より）

大島精次君（地区諮問委員）・東山昶也君（地区諮問委員）

委員会報告

出席・ニコニコ BOX 委員会

高橋孫左衛門君——今日、誕生日と例会日がかさなりました。とうとう古希を迎えました。

本山秀樹君——誕生日と例会が重なりました。

社会奉仕委員会

2/13 オークションのご案内

幹事報告

配布物：週報No.24

回覧物：高田 RACNEWS

報告：新会員所属委員会について

卓話

説経 さんせう太夫



今日は小松光代さんに卓話をお願いしました。小松さんは現在、直江津まちなかアテンダントとして毎日、直江津学びの交流館で街おこしのためにご活躍です。今日は「説経さんせう太夫」というテーマで私たちになじみの「安寿と厨子王」の物語です。これを25分の語りをしていただきました。「説経さんせう太夫」の出典は、新日本古典文学大系90、古浄瑞宝説教集、信多純一・坂口博之校注（岩波書店）で、「説経」とは、物語を通して人の道を説くというものです。

「さんせう太夫」にはいろいろのバージョンがあります。お話しいただいた、直江津版では、厨

語り部：直江津まちなかアテンダント **小松 光代 様**
紹介・解説：プログラム委員長 **渡邊 隆 君**

子王が出世をして佐渡に流されていた母と再会するのですが、佐渡版では別のお話しになっています。安寿姫が佐渡に連れてこられ、そこで母にも再開できず、なくなってしまうという話になっています。佐渡には安寿姫のお墓もあるそうです。

安寿と厨子王は直江津で悪徳商人の人買にだまされて母子が引き離されるお話ですが、これは直江津が東西の文化・経済と人々の交流の要になっていたことの証なのです。日頃、多忙なビジネスに忙殺されている会員の皆様、約30分間の静かな人情に触れたお話の時間はいかがだったでしょうか？（渡邊）

群馬・新潟地区分割15周年記念行事を振り返り

高田ローターアクトクラブ 会長 **永井 真伊 君**

1月11日(日)～12日(月)に、第2840地区の群馬と当地区の地区分割15周年を記念して「ウインタースポーツ交流会 in Mt.Naeba」と題し、苗場スキー場でウインタースポーツを取り入れた交流行事を行って来ました。参加人数は両地区合わせて約50名の参加がありました。

日中はスキー・スノーボードの他にスノーアクティビティとして、スノーラフティングとスノーモービル運転体験をした後、両県の伝統かるたである上毛かるた・新潟かるたを使用した雪上巨大かるた大会を行い、両県の歴史に触れながら白熱したひとときとなりました。初めてお会いした方も沢山居ましたが、かるたを通じて交流を深め、また、私自身も今回の行事でかるたを用いたことで、群馬について知り、勉強になりました。

その後、夜の懇親会では、日中の各グループごとの報告や当クラブで企画・運営をしたオリジナルゲーム等を盛大に行い、日中話せなかった方とも親睦を深め楽しみました。

今回の行事は高田RACがメインホストクラブとして企画から運営まで携わり、終わってみれば反省点もありましたが、とても貴重な経験をさせていただいたと感じております。今回の反省点は、今後アクター同士コミュニケーションを取りながら、クラブの成長と活動に繋がるよう一層精進して参りたいと思います。

後期に入り、また新たな気持ちで今後の活動にも力を入れていきたいと考えています。今後ご支援・ご指導のほど宜しくお願い致します。

